

九州大学 大型計算機センターニュース

No.89

1975.2.7

福岡市東区箱崎6丁目10番1号
九州大学大型計算機センター
共同利用掛(TEL 092-64-1101)
内線 2256

(住所地名が変更になりました)

目 次

◆ 新負担金について.....	1
◆ ジョブ打切値(制限値)について.....	3
◆ 昭和50年度の「計算機利用申請書」の受付について.....	5
◆ 計算機利用報告書の提出について.....	6
◆ オープン・カードの利用について.....	6
◆ 4月以降のオープン機器の変更について.....	8
◆ センター住所地名変更について.....	8

◆ 新負担金について

昭和50年4月1日からの負担金について、試案を昨年10月センターニュースNo.83でお知らせし、利用者の皆様のご意見をお伺いいたしました。また、試案の説明会も行いました。今回は皆様方のご理解をいただきまして、寄せられたご意見は端末入出力行数にかかる負担金を安くしてほしいというものだけです。「端末入出力行数にかかる負担金の変更については12月10日の運営委員会では、その時点までにまとまったデータ、意見、希望等を考慮した原案を提出し、端末入出力行数の負担金については、軽減することをなお検討してみても業務委員会の承認を得て確立したい旨を提案し、その他の項目については一部修正して提出し、何れも承認を得ました。その後前者について、センター内および業務委員会で慎重に審議した結果、24行につき1円(原案は15行につき1円)ということになりました。ご意見を寄せられた利用者の方にはご不満もありませんかと思いますがご了承願いたいと思いま

す。

今回の改定に際しまして、ご理解とご意見をいただきました皆様方に感謝いたします。センターでは、より公平な、より妥当な負担金制度を目標に、負担金の対象とする項目や内容についてこれからも各種のデータを取り検討を続けていきたいと思っています。今後ともご協力のほどお願いいたします。

なお、新負担金算定方式及び、現負担金との比較を次に示します。

① 新負担金算定方式一覧(50年4月1日実施)

項 目		ローカル・バッチ	リモート・バッチ	会 話 型
基本負担金		1件につき50円	1件につき20円	
演算負担金		10円/秒×演算時間×処理形式係数 (演算時間はCPU時間に主記憶占有係数を乗じた値)		
入出力負担金	カード入力	10枚につき1円		
	紙テープ入力	4000字につき1円		
	ラインプリンタ出力	(1頁につき3円)+(12行につき1円)		
	カード出力	1枚につき2円		
	XYプロッタ出力	4000ステップにつき1円		
	端末入出力	24行につき1円 (ただし、センター内端末利用の場合は5行につき1円)		
	端末思考時間	30秒につき1円		
	共用ボリューム	15KBにつき1日1円		
	カード穿孔	1枚につき3円		

・演算負担金 $10円 \times \left[\sum_{n=1}^s (CPU時間 \times 主記憶占有係数) \right] \text{処理形式係数}$
 s はステップ数、〔〕円は1秒単位

・主記憶占有係数 $0.4 + 0.01 \times x$ x : 実際主記憶占有量(KW), 小数点以下第2位切上げ

・処理形式係数 会話型のみ2.0 その他は1.0

② 現負担金との比較

49年10月～12月のローカルバッチジョブの平均のシステム使用量をデータとしています。

なお、現在のXジョブは、なくなります(Aに含める)ので、A～Dについての比較をいたします。

1. コア使用量は、実行時のものを示します。
2. 演算負担金は、演算時間の算定方式がかわりますので、本表より少し安くなると思います。
3. カード出力以外の特殊 I/O は省略しています。

種 別	基本 負担金	演算負担金		入出力負担金				計	新/規	
		CPU 時間		入 力 カード	出 力 ページ	出力行	出 力 カード			
A	システム使用量	/	CPU(秒) 6	コア(KW) 23	枚 325	枚 16	行 770	/	1.06	
	現行負担金(円)	50	42		33	48	51	(円) 224		
	新負担金(円)	50	42		33	48	64	237		
B	システム使用量	/	33	30	枚 485	枚 25	行 1253	枚 22	1.08	
	現行負担金(円)	50	231		49	75	84	22		511
	新負担金(円)	50	231		49	75	104	44		553
C	システム使用量	/	134	31	枚 689	枚 49	行 2530	枚 45	1.16	
	現行負担金(円)	50	938		69	147	169	45		1418
	新負担金(円)	50	1072		69	147	211	90		1639
D	システム使用量	/	136	25	枚 139	枚 23	行 1117	枚 26	1.04	
	現行負担金(円)	50	952		14	69	74	26		1185
	新負担金(円)	50	952		14	69	93	52		1230
A D	システム使用量	/	77	27	枚 410	枚 28	行 1417	枚 23	1.06	
	現行負担金(円)	50	539		41	84	94	23		831
	新負担金(円)	50	539		41	84	118	46		878

◇ ジョブ打切値(制限値)について

50年4月の新システム運用に伴ない、運用方式の変更、システム容量の増大、ターンアラウンドタイムの改善など、総合的に考慮してジョブ種別毎のジョブ打切値(システム使用量制限値)を次表の通り改定いたします。

項目		種別	A	B	C	D	E	CPS
カード	入力(枚)		1500	3000	6000	12000	左記の制限を越えるもの	/
	出力(枚)			2000	5000	10000		
ラインプリンタ	ページ(枚)		40	80	200	500		
	ライン(行)		4000	8000	20000	50000		
紙テープ	本数(本)		制限なし					
	読込時間(分)							
XYプロッタ	出力量(cm)		500	1000	1500			
	出力時間(分)		30	60	90			
端末行数	入力		制限なし					
	出力	200ビット/秒以下	400					
		2400ビット/秒	4000	8000	20000	20000		
		4800 "	4000	8000	20000	40000		
CPL 時間(分:秒)			0:30	3:00	8:00	20:00	3:00	
コア占有量(KW)			96	96	96	160	96	
コア占有時間(分)			180	180	180	180	180	
グラフィックス			1人1時間, MT使用不可				端末入力待時間 5分	
磁気テープ(本)				2	4	4		
共用ボリューム			1課題につき200KB~1MB. きざみは100KBとする.					

① ジョブ種別はA~Eとして、利用形態による利用可能ジョブ種別は次の通りです。

(○印のみ使用可)

	A	B	C	D	E
ローカルバッチ (BATCH)	○	○	○	○	○
会話型リモートバッチ (CRBO)	○	○	/	/	/
リモートバッチ (RBO)	○	○	○	○	/
会話型 (CPS)	ジョブ種別なし				

※ Eは、要審査特殊ジョブとします。

② 斜線部は利用不可とします。

③ CPSの端末入力待時間というのは、1ステートメントについてシステムからの入力命令が
 されて端末利用者が実際に入力するまでの時間です。この時間を越えると自動的にセッションが
 閉鎖されます。

④ 共用ボリュームの大きさ1MBは、従来のトラックに換算すると約140トラックとなります。

〔参考資料……49年10月～12月のジョブ種別毎のシステム使用量の平均値は次表の通
 りです。〕

種 別 項 目		ロ ー カ ル						リ モ ー ト				デ マ ン ド				
		X	A	B	C	D	平均	X	A	B	平均	X	A	平均		
カ ー ド	入 力	147	325	485	689	139	357									
	出 力			22	45	26	31									
L P	ペ ー ジ	7	16	25	49	23	24	4	11	16	11					
	ラ イ ン	314	770	1253	2350	1117	1196	193	480	849	507					
紙 テ ー プ 文 字 数																
X Y プ ロ ッ タ ス テ ッ プ 数		192000					192000									
C P U (sec)		2	6	33	134	136	62	1	4	22	9	1	1	1		
コ ア 使 用 量 (KW)		19	23	30	31	25	25	21	22	32	25	18	23	20		
コ ア 占 有 時 間 (sec)		40	67	153	439	271	194	54	72	125	84	161	196	179		
グ ラ フ ィ ッ ク ス	件 数	39														
	時 間 (H)	25														
端 末	入 力							15	23	47	28	16	18	17		
	出 力							14	15	19	16	25	33	29		
思 考 時 間 (sec)												336	503	420		

◇ 昭和50年度の「計算機利用申請書」の受付について

センターニュース№87でお知らせしましたとおり、昭和50年度の登録申請を受付けておりますが、以下のことに気を付けて申請して下さるようお願いします。

1. 今年度は申請書様式の変更のため、支払責任者登録、課題登録とも年度更新は行ないません。従いまして、すべての方が新規登録となりますので、必要な項目はすべてご記入ください。

2. 現在支払責任者となっておられる方（科学研究費は除く）で来年度も引き続き支払責任者として登録されたい方は、「計算機利用申請書」の共通欄に、現在持っておられる支払責任者登録番号の下4桁をご記入ください。

(例) 共通欄

登 録 番 号					
		0	0	0	1
9	10	11	12	13	14

スペース 登録番号下4桁

3. 課題登録申請においても、現在支払責任者登録されている方を来年度も支払責任者とされる場合には、上記の例に従って番号をご記入ください。

◇ 計算機利用報告書の提出について

昭和49年度中に課題登録された方は、センター利用の有無にかかわらず、所定の「計算機利用報告書」を昭和50年4月30日までに提出してください。

なお、50年度も引き続き利用申請される場合は、計算機利用申請書と計算機利用報告書を同時に提出していただきますようお願いいたします。所定の用紙は連絡所に用意してあります。

◇ オープンカードリーダーの利用について

カードリーダーのオープン始めて既に2ヶ月になりますが、ジョブの増加に伴い種々の問題が発生しておりますので、今後の利用につきましては特に下記の点にご留意のうえご利用ください。

記

1. 入力時における不良カードの修正について

カード入力時に発生した不良カードは、プログラム相談室入口横に設置している穿孔機を利用してください。なお、この穿孔機は入力時に発生した不良カードを修正するための専用機ですから、一般デバッグ用には利用しないでください。

2. 優先ジョブの受付について

出張利用者のジョブや再計算のジョブについては受付窓口へ提出してください。オープン・カ

ードリーダーから入力されますと優先されませんのでご了承ください。

3. 計算結果が返却されない場合

システム障害等で計算結果が返却できない場合には、受付窓口へ該当ジョブの受付番号を掲示しておりますので、同じ受付番号で再入力してください。なお、計算結果の出力表示があるジョブについては保障しかねますのでご了承ください。

4. 計算結果の返却について

計算結果の返却は次の時間に行います。ただし、システムの障害等で多少ずれることがありますのであらかじめご了承ください。

午 前	午 後
9 時	1 時
9 時半	1 時半
1 0 時	2 時
1 0 時半	2 時半
1 1 時	3 時
1 1 時半	3 時半
1 2 時	4 時
	4 時半

5. 障害表示器、オペレーター呼出し用押釦の取扱いについて

このたび、オープン・カードリーダー等を、より利用しやすくするために、ロビーおよびターミナル室に障害表示器を設置しました。また、オープン・カードリーダーの操作方法やエラー処理等でお困りの方のために、オペレーター呼出し用の押釦もプログラム相談室入口横に設置しましたので、必要なときにご利用ください。

6. Cジョブの入力停止について

従来、Cジョブの計算依頼の受付は、オープンカードリーダーからも行っていましたが、ジョブの増加に伴いターンアラウンドタイムが長くなっていますので、今後Cジョブについては、必ず受付窓口にて計算依頼してください。なお、カードリーダーより入力させた場合はセンターで強制終了しますのでご了承ください。

▷ 4月以降のオープン機器の変更について

センターでは、現在オープン機器として利用者の方々に穿孔機16台（EL型14台、H型1台、インタプリタ1台）とオンライン・タイプライタ（JP1500）5台を開放していますが、4月以降、TSS用ターミナルの充実を計るため、そのうちの穿孔機4台（EL型3台、H型1台）と（JP1500-）4台を撤去し、かわりにオンライン・タイプライタF1510E（JP1500の2倍の通信速度をもつ端末機）7台を設置いたします。このため4月以降のオープン機器は穿孔機12台（EL型11台、インタプリタ1台）とオンライン・タイプライタ8台（JP1500-1台、F1510E-7台）となりますのでお知らせします。

なお、H型穿孔機を利用されている方は、以後EL型穿孔機で穿孔されるようになりますので、計算依頼される際は、H型穿孔機で穿孔したカードデッキの前には~~Y~~CONVを入れ、EL型穿孔機で穿孔したカードデッキの前には~~Y~~NOCNVを入れてください。

◇ センター住所地名変更について

昭和50年2月1日より、センターの住所地名が下記のとおり変更になりましたのでお知らせします。

新住所地名 福岡市東区箱崎6丁目10番1号

旧住所地名 福岡市東区大字箱崎3576番地